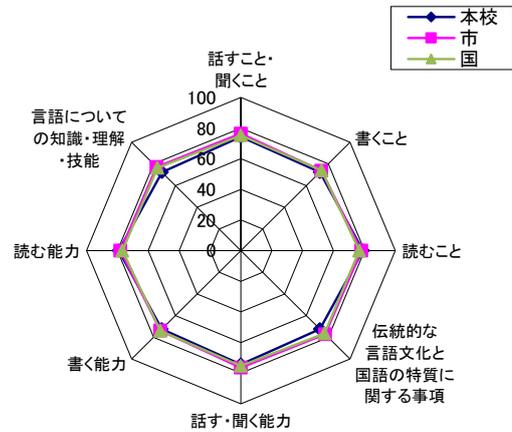


# 宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

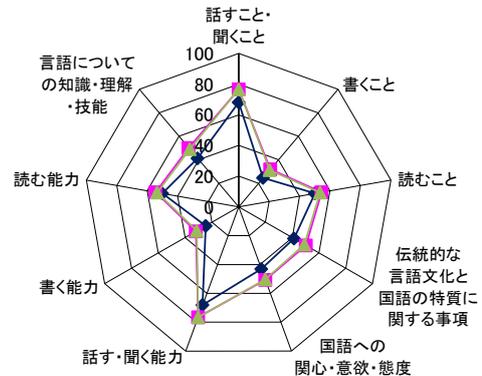
### 【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.3	76.4	75.2
	書くこと	72.5	73.7	73.9
	読むこと	79.1	78.0	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.3	77.2	76.5
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	74.3	76.4	75.2
	書く能力	72.5	73.7	73.9
	読む能力	79.1	78.0	76.7
	言語についての知識・理解・技能	72.3	77.2	76.5



### 【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.1	76.5	76.6
	書くこと	24.6	31.9	31.3
	読むこと	50.1	54.5	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	41.4	50.2	49.2
観点	国語への関心・意欲・態度	43.1	50.6	50.3
	話す・聞く能力	68.1	76.5	76.6
	書く能力	24.6	31.9	31.3
	読む能力	50.1	54.5	53.5
	言語についての知識・理解・技能	41.4	50.2	49.2



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話す・聞くの設問において、無回答の割合が比較的低い。 ●全ての設問において、全国、県平均を5ポイント以上下回っている。	・授業での話し合い活動や発表の場における、話の聞き方についての指導を行い、相手の話を聞く態度を育成する。また、発表や質疑応答を行う場を取り入れていく。
書くこと	○書く設問に答える上での条件を捉え、答えられている割合が比較的高い。 ●相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことに関して、全国、県平均を7ポイント以上下回っている。	・主張・意見と根拠の違いを明確にしたうえで、文章の構成を考えながら書く内容を取り入れる。 ・決められた字数で文章をまとめる練習をする。
読むこと	○選択式の設問に対しては、正答率が比較的高くなっている。 ○グラフからの読み取りや登場人物についての設問では、全国、県平均を上回っている。 ●登場人物の言動の意味を考える設問では、全国、県平均を下回っている。	・物語の内容を考えるとときに、登場人物の台詞や行動、場面描写などに注目させて、登場人物の心情を理解する授業を設けることで、書かれている行動や、台詞などから内容をとらえられるようにさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える設問は全国、県平均を上回っている。 ●「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」では、全ての設問において回答率が低い。	・辞書を使って語句調べをする時間を授業の中に取り入れ、多くの語彙について考えられるようにする。